

令和5年度 成長力強化に貢献する質の高い教育

1. 授業科目名

プロジェクト演習（ビジネス）

2. 連携している地元産業界等の組織名称

倉吉市産業環境部商工課

3. 当該授業等を実施する学部・学科

鳥取短期大学 生活学科 情報・経営専攻

4. 当該授業等を開講する目的及び内容

倉吉市商工観光課(現 倉吉産業観光部商工課) と連携協定を締結し、倉吉市の中心市街地が抱える地域課題を主な素材としてPBL型学習を行う。倉吉市の「中心市街地活性化計画」を事前に学修して当該地域の社会的・経済的課題について認識するとともに、中心市街地・商店街にてフィールドワークを実施してその認識を深めるとともに、新たな課題を発見する。そのうえで課題解決に向けた提案を作成・検討し、成果発表会を行い地域に成果を還元する。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後 期	1 年次	1 単位	選択
担当教員			
植木 洋・田村 剛			
授業形態	時間数	開講学科等	科目区分
演習	30 時間	生活学科 情報・経営専攻	専門科目
添付ファイル			

授業概要	地域が抱える課題を主な素材として、本専攻で学んだ知識・スキルを活用しながら、チームによる課題解決型学習（PBL：Problem Based Learning）を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習を通して、職業生活、市民生活に対する問題意識を高めることができる。（①） ・自己理解を深めることができる。（②） ・地域において社会的・職業的に自立するための学習態度を身につけることができる。（③） 				
授業計画	回数	授業内容	担当者	事前事後学修	取組時間
	1	イントロダクション—授業概要の説明	植木・田村		
	2	課題の学習—文献調査① 地域の現状を知る	植木・田村	【事前】テキストを読みグループでレジュメの作成、質問の準備をする	5
	3	課題の学習—文献調査② 地域の現状を知る	植木・田村	【事前】テキストを読みグループでレジュメの作成、質問の準備をする	5
	4	課題の学習—文献調査③ 地域の課題を考える	植木・田村	【事前】テキストを読みグループでレジュメの作成、質問の準備をする	5
	5	フィールドワークの準備	植木・田村	【事前】グループでフィールドワークにおける質問の準備をする	4
	6	フィールドワーク①	特別講師	【事後】講師の話を受け、グループで内容をまとめる	4
	7	フィールドワーク②	特別講師	【事後】講師の話を受け、グループで内容をまとめる	4
	8	フィールドワーク③	特別講師	【事後】講師の話を受け、グループで内容をまとめる	4
	9	調査のまとめ①（SWOT分析）	植木・田村	【事前】調査のまとめをグループで行う	4
	10	調査のまとめ②（SWOT分析）	植木・田村	【事前】調査のまとめをグループで行う	4
	11	調査のまとめ③（TOWSマトリクス）	植木・田村	【事前】調査のまとめをグループで行う	4
	12	発表準備①	植木・田村	【事前】発表に向け、グループでスライドを準備する	4
	13	発表準備②	植木・田村	【事前】発表に向け、グループでスライドを準備する	4
	14	模擬発表	植木・田村	【事前】発表に向け、グループでスライドを準備する	4
	15	最終発表・まとめ—プロジェクト演習の総括	植木・田村	【事後】最終レポートに取り組む	5
教材（テキスト、プリントなど）	適宜、プリントを配布する。				
教材（参考文献など）	適宜、プリントを配布する。				
評価方法	レポート35%、発表35%、授業態度30%				
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	テキスト報告や外部講師の講演のまとめ、調査のまとめなど各回の授業においてコメント・講評を行う。				
資格選択区分	ビジネス実務士資格選択 実践キャリア実務士資格選択				
教職科目の位置づけ					
実務経験のある教員による授業科目					

の配置	
科目等履修生ほか 受入の可・否（受 入可能人数）	不可
備考	どのような仕事においてもチームによる課題発見・課題解決は非常に重要な能力です。さらに、チームに属す一人一人が役割をまっとうできない場合、チーム自体が機能しません。そのようなことを理解した上で履修を考えてください。また、既に授業で学んだ内容と新たな考え方を組み合わせて課題解決にあたります。

講義科目名称： プロジェクト演習（ビジネス）

ナンバリング： 2-1-4-02

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後 期	1 年次	1 単位	選択
担当教員			
植木 洋・簡 逸威			
授業形態	時間数	開講学科等	科目区分
演習	3 0 時間	生活学科 情報・経営専攻	専門科目
添付ファイル			

授業概要	地域が抱える課題を主な素材として、本専攻で学んだ知識・スキルを活用しながら、チームによる課題解決型学習（PBL：Problem Based Learning）を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習を通して、職業生活、市民生活に対する問題意識を高めることができる。（①） ・自己理解を深めることができる。（②） ・地域において社会的・職業的に自立するための学習態度を身につけることができる。（③） 				
授業計画	回数	授業内容	担当者	事前事後学修	取組時間
	1	イントロダクション：授業の説明	植木・簡		
	2	課題の学習—文献調査① 地域の現状を知る	植木・簡	【事前】テキストを読みグループでレジュメの作成、質問の準備をする	5
	3	課題の学習—文献調査② 地域の現状を知る	植木・簡	【事前】テキストを読みグループでレジュメの作成、質問の準備をする	5
	4	課題の学習—文献調査③ 地域の課題を考える	植木・簡	【事前】テキストを読みグループでレジュメの作成、質問の準備をする	5
	5	フィールドワーク準備①	植木・簡	【事前】グループでフィールドワークにおける質問の準備をする	4
	6	フィールドワーク①	特別講師	【事後】講師の話を受け、グループで内容をまとめる	4
	7	フィールドワーク②	特別講師	【事後】講師の話を受け、グループで内容をまとめる	4
	8	フィールドワーク③	特別講師	【事後】講師の話を受け、グループで内容をまとめる	4
	9	調査のまとめ①（SWOT分析）	植木・簡	【事前】調査のまとめをグループで行う	4
	10	調査のまとめ②（SWOT分析）	植木・簡	【事前】調査のまとめをグループで行う	4
	11	調査のまとめ③（TOWSマトリクス）	植木・簡	【事前】調査のまとめをグループで行う	4
	12	発表準備①	植木・簡	【事前】発表プランを考える	4
	13	発表準備②	植木・簡	【事前】発表に向け、グループでスライドを準備する	4
	14	模擬発表	植木・簡	【事前】発表に向け、グループでスライドを準備する	4
	15	最終発表・まとめ—プロジェクト演習の総括	植木・簡	【事後】最終レポートに取り組む	5
教材（テキスト、プリントなど）	適宜、プリントを配布する。				
教材（参考文献など）	適宜、プリントを配布する。				
評価方法	レポート35%、発表35%、授業態度30%				
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	テキスト報告や外部講師の講演のまとめ、調査のまとめなど各回の授業においてコメント・講評を行う。				
資格選択区分	ビジネス実務士資格選択 実践キャリア実務士資格選択 上級情報処理士資格選択				
教職科目の位置づけ					

実務経験のある教員による授業科目の配置	
科目等履修生ほか受入の可・否（受入可能人数）	不可
備考	チームに属す各人が役割をまっとうできない場合、チーム自体が機能せず、成果が得られないレベルの課題をテーマに取り上げています。また、自身の役割の把握とメンバーとのコミュニケーションおよび授業時間外の取り組みが非常に重要となってきます。 以上のことから、次の履修制限を設けます。①原則として1年次前期GPAが1.7未満の場合の履修は認めない。 ②履修者数の上限を概ね15名とする。（どうしても履修したい場合は、科目担当者と要相談）